

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

市長あいさつ

川上さん(「ぴーちーず」代表)あいさつ

野村さん(「この指とまれ」代表)あいさつ

【意見交換】

①公園の水場、砂場の清掃と施設管理(修繕等)を充分に行ってほしい

②育児中のお母さんが子どもと一緒に出かけ食事もでき、育児の相談や雑談などで気分転換ができる場所が近所にあるといい

③1歳未満の子が長期入院した時には、付添いの親も入浴できるようにしてほしい

④サークル活動で出掛ける時にバスなどを貸し出してほしい

⑤保育所の入所要件の緩和、待機児童の解消に努めてほしい

⑥町内会行事への参加について
・アパート・マンションには回覧板が回ってこないのでは行事の予定が分からない
・町内会へどうやって加入したらよいか分からない

⑦健診時にお母さん方を不安にさ

第50回目となる今回は、「子育て支援について」をテーマに、実際に子育て中の方々から、子育てにかかわる率直なご意見をいただくため、市内の育児サークルの「ぴーちーず」(代表:川上友喜美さん)と「この指とまれ」(代表:野村美穂さん)の皆さんと意見交換を行いました。



日時	平成22年5月28日(金) 午前10時35分～午前11時15分
場所	旭川市神居住民センター 1階 和室 (神居2条17丁目)
出席者	旭川市長 西川将人 育児サークル「ぴーちーず」、「この指とまれ」の皆さん 10組

対話の内容

参加者から寄せられた意見と、市長のコメントについてまとめたものを掲載します。

テーマ～「子育て支援について」

市長あいさつ

皆さん、おはようございます。

今日は「まちづくり対話集会」ということで、「ぴーちーず」と「この指とまれ」の2つの育児サークルの皆さんと、この後約1時間、意見交換をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

こちらのサークルに来ているお子さんは、一番小さい子が5か月、大きい子は3歳と、本当にお母さんは大変だと思いますが、日頃の子育ての不安や、行政に対してのご提言があれば、ぜひ聞かせていただきたいと思います。

早速、始めさせていただきたいと思いますので、まずは「ぴーちーず」の代表であります川上さんからご発言いただきたいと思います。よろしくお願いします。

せるような言い方はしないでほしい

⑧育児サークルの紹介方法等について

⑨夜間急病センターの診療体制について

市長終わりのあいさつ

川上さん(「ぴーちーず」代表)あいさつ

こんにちは。神居地区で活動しています「ぴーちーず」の代表の川上と申します。現在8世帯の親子で活動しています。昨年より少し少なくなり、こじんまりとした感じで活動しています。私は在籍して1年半くらい経つのですが、代表になったばかりで、活動内容をいろいろと考えるのも、手探りの状態でやっております。今日は対話集会とのお話をいただいて、たいへん光栄に思っています。私たちだけでは人数が少ないので、「この指とまれ」の皆さんをお誘いして参加することとなりましたが、他のサークルの方々と交流できる良い機会となったと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。



市長

よろしくお願いいたします。
それでは、「この指とまれ」の代表の野村さんから、ごあいさつをいただければと思います。

野村さん(「この指とまれ」代表)あいさつ

忠和地区の育児サークル「この指とまれ」の代表をさせていただいております、野村と申します。現在、5世帯で活動しています。「この指とまれ」というサークルはもう20年近く昔からあるサークルで、全盛期には20世帯くらいだったのですが、今は5世帯とすごく少ない中で活動しています。冬になると、遊ぶ場所が体育館や「わくわくエッグ」などの限られたところしかないの、夏にはなるべく外に出て遊んで、冬の間は地区センターなどで保育士さんと工作などをしています。私も代表になってからまだ間もなく、また下の子も小さいので、バタバタした毎日を送っていますが、本日はいろいろと話をできたらと思っています。よろしくお願いいたします。

市長

ありがとうございます。
今、皆さんの活動予定表を見せていただいたのですが、絵本の読み聞かせや工作、茶話会、保育士さんに来てもらったり、私との話会というのでも予定表に書いていただいておりますし、保育所の見学やいちご狩り、公園などいろいろな所に行って遊んだりされているようですね。本当に時間も制約されて、小さい赤ちゃんを連れて歩かなければならないから、いろいろと不便を感じることもあると思います。こういうことをもっといろいろな人に手伝わってもらえたらいいなですが、こういうことでいろいろな情報をもらえたらいいなとか、そのように日頃思っていることもあるのではないかなと思いますので、この機会にぜひ聞かせてもらえたらと思います。

【意見交換】

※以下、参加者は発言順にアルファベットで表しています。

①公園の水場、砂場の清掃と施設管理(修繕等)を充分に行ってほしい。

参加者A

夏場は外での遊びが多くなり、忠和公園や神楽のクリスタルパークの水遊び場は、子どももすごく楽しみにしている場所なのですが、少し掃除が行き届いておらず、カビが生えて、ヌルヌルしていて、滑りやすくなっていたり、虫たちの住まいになっているところがあります。また、公園の砂場にごみが散らかっているところが多いように思います。私も気になるごみは拾って持ち帰ったりしていますが、いつもごみがあり、遊ばせるにはきれいではないところもあります。子どもたちをきれいな所で遊ばせることができるように、清掃、管理を充分に行ってほしいと思います。

市長

忠和公園やクリスタルパークは、小さいお子さんがよく遊びに来ている場所ですね。これから夏に向けて、水場遊びが増えますから、あまり汚くならないように気を付けたいと思います。

参加者B

先日、幼稚園の遠足でカムイの杜公園に行きました。上の方にある建物のそばの通路の路面が、インターロッキングなのでしょうか、でこぼこになっていて、幼稚園児が皆つまずいていたので、直していただきたいと思います。大人は気付く所でも、子どもは前しか見ていないので、転んでしまいます。



市長

わかりました。ちょっと確認してみます。

②育児中のお母さんが子どもと一緒に出かけ食事でもでき、育児の相談や雑談などで気分転換ができる場所が近所にあるといい

参加者C

私は子どもが2人いますが、子どもがまだ歩けない頃は、家の中にずっと閉じこもりがちになり、だんだんとストレスが溜まってきてしまいます。そうした時には私は実家が旭川なので、よく実家に帰って、食事もしたりして、気晴らしをすることができました。そこで、例えば、育児中のお母さんが子どもと一緒に気軽に食事ができて、座敷のようなところで、いろいろと雑談もできるような所があると、気分転換になっていいと思います。

北海道内のある町では、ボランティアのお年寄りが食事をつくって、そこで近所のお年寄り子どもたちが一緒に食べたり、普段困っていることや悩みなどを相談できるような場所があるそうです。全くの無償だと、やりたいという人もいないかもしれませんが、例えば食事代は支払うようにすると、やってくれる人もいるかもしれないですし、私たちも気軽に行けると思います。

市長

食事なども皆と一緒につくって、子どもも一緒にいられるような環境があるととってもいいなというような雰囲気なんですね。ちょっと何かいい方法がないか検討してみます。

③1歳未満の子が長期入院した時には、付添いの親も入浴できるようにしてほしい

参加者D

子どもが生後4か月の時に市立病院に入院しました。入院期間が1か月という長期間にわたることがありましたが、病院側にどんなに掛け合っても、決められたルールだからと、付き添いの親は入浴させてもらえませんでした。まだ4か月なので、母乳で育てていますので、1時間と子どもの側を離れることができず、夫も仕事を休めず、頼る人も周りにいないので、家に帰ることができず、1週間くらいお風呂に入れられないということがよくありました。1歳未満の子は、特に病気で具合が悪い状態だと、あまり離れられないので、入浴できるようにしていただけたらいいなとすごく思いました。

市長

そうですね。少しでも家に帰ることができればいいのですが、その間は全然帰れないんですものね。

どのようなシステムになっているのか、私も確認してみます。

④サークル活動で出掛ける時にバスなどを貸し出してほしい

参加者E

カムイの杜公園はとてもいい施設なので、私たちもほかのサークルの方々もよく利用するのですが、バスが通っておらず交通の便が悪いです。また、サイバル(旭川市科学館)へのバスの便も不便です。夏になるとサークルで出掛ける機会が多くなり、車のない方は乗り合わせて参加することになるのですが、チャイルドシートだけで車がいっぱいになってしまいますし、あるサークルで車に乗り合わせてカムイの杜公園に行く時に、警察に捕まったということを知ったことがあります。

果物狩りにもよく行くのですが、サークルの皆で乗り合わせて行くと、家族だけで行くのとは違って、子どもたちも喜んでいきます。しかし、運転するお母さんは他の人を乗せているから緊張して楽しめませんし、万が一捕まったりした時には、乗せてもらった方もとても申し訳ない気持ちになります。また、場所によっては、個人個人が車で行く場合もありますが、駐車場が少ないところでは、車の台数を少なくしてくださいというところもあります。

バスなどの公共交通機関を増やしていただけたらいいとは思いますが、やはり皆で乗り合わせて出かける方が楽しいですし、個人でバスを借りるとなると、かなり料金が高いので、例えば格安でバスなどをサークルに提供してくれると、誰も運転しなくてもよく安全です。また、もっと旭川のいろいろな場所へ皆で出掛けることもできてとても楽しいと思います。

市長

皆さん大勢と一緒にバスに乗り合わせて行ったら楽しいですね。

何かいい方法がないかな。なかなか定期路線バスを走らせるわけにもいかないの、乗り合いで行く時に何か助成ができるとか、そういう制度があると皆さんも利用しやすいかもしれないですね。

参加者F

以前、遠軽町の児童養護施設で働いていたことがあったのですが、その時には町でバスを貸し出してくれていました。サークル活動に対してではありませんでしたが、例えば町内会の行事などに対して、月1回とか、年に何回までとか、町外なら年に2回までなどと、回数などを決めて貸し出してくれていました。旭山動物園に来たこともあります。旭川市でもそういうマイクロバスなどを用意していただければいいのかなと思います。

市長

そうすると利用しやすいですね。

⑤保育所の入所要件の緩和、待機児童の解消に努めてほしい

参加者G

今、就職活動をしていますが、企業側からすると、保育所が決まっていなければ採用は難しいということですし、逆に市の方では、就職が決まらないと認可保育所には入れづらいということがあり、すごく矛盾というか悪循環で、就職も入園も決まらないので、そこをもう少し改善してほしいと思います。特に1歳未満の子は認可保育所へ入ることが難しいのと、地域によっては認可外保育所があまりないところもあります。この忠和や神居地区は認可外保育所が特に少ないので、街中や永山などまで連れて行かなければなりません。もう少し待機児童の解消に努めていただきたいと思います。

市長

わかりました。ちょっといい方法がないか、知恵を絞ってみます。企業の立場と保育所に入る認定をする立場となかなか難しいですね。

⑥町内会行事への参加について

- ・アパート・マンションには回覧板が回ってこないので行事の予定が分からない
- ・町内会へどうやって加入したらよいか分からない

市長

お母さん同士、このようなつながりを持って、育児の情報交換をしたり、悩みを相談したりできるのでとてもいいことと思いますが、地域の町内の活動や行事などに参加することはありますか。もう少しこういうような活動や行事を町内会で取り入れてくれるといいとか、そういうことを思ったことはありますか。

参加者H

私のいる地区はクリスマス会や餅つき会などがあり、毎年参加しています。私が住んでいる所の町内会は、子どもの数は少ないのですが、七夕まつりや新年会など、いろいろと青少年育成部長さんが企画してくれるので結構充実していると思います。

参加者I

若い人が多いアパートやマンションというのは、回覧板が回ってこないですし、連絡もないので、行事のことや町内会のことが一切分かりません。町内会費のことも言われたことがなく、町内会に入りたくてもどうやって入ったらいいのかが分かりません。

市長

回覧板は町内会に入っている人にしか回っていないんですよ。町内会への加入の勧誘にも来ないということですね。私も町内会の会長の会などに行った時に各会長さんに、ぜひアパートにも積極的に勧誘に行ってくださいというお願いをしております。

回覧板が来ないと、町内で何があるのか分からないですものね。

⑦健診時にお母さん方を不安にさせるような言い方はしないでほしい

参加者J

私の子どもはまだ言葉があまり出てこないのですが、男の子は遅いとか、2歳過ぎると話すよとか言われてますので、あまり気にはしていませんでした。先日、市の1歳半健診に行った時、保健師さんから、「こんなに言葉が出なかつたら心配でしょ」と言われて驚きました。「心配した方がいいですよ」というように聞こえました。話す時期というのは個人差があるものだと思っていたので、これはショックでした。もう少し言い方を考えてほしいなと思いました。

市長

必要以上に不安がらせるようなことを聞きたくないということですよ。個人差があるので、全然心配しなくてもいい場合がほとんどなのでしょうけど。わかりました。そういうことは気を付けるようにしなければいけないですね。

⑧育児サークルの紹介方法等について

市長

育児サークルに入っていて、良かったことはたくさんあると思いますが、もっともっと多くの方に入ってもらいたいなと思っていらっしゃるでしょう。私たち市でも、皆さんをご紹介するパネルやチラシなどを庁舎に掲示したり、保育所などにも貼らせていただいて、ご紹介しているところですが、どうやらもっと仲間が増やせるのかということで、皆さんの方から何かご提案があれば、聞かせてもらえたらと思います。



参加者K

「わんぱくフェスティバル」というイベントがあり、これは一般の人も自由に参加できるのですが、ほとんど育児サークルの合同の遊びのようなものです。一応、各サークルの人は目印を付けて分かるようにしていますし、一般の人も分かるようににはしていますが、スケジュールがびっしりで限られた時間の中では、お互いに話す機会がないと思います。サークルを紹介するポスターなども置いてありますが、実際、誰に話しかけていいのかも分からないと思います。以前、このイベントの最初の開催時に、一般の人も募集しておきながら、サークルだけの遊びをして、一般の人がそれに参加できなかったということがありましたが、そういうことをするのであれば、一般の人を募集するのはおかしいと思います。

そこで、就職説明会のように、各サークルが一つの会場に集まって、サークルに加入していないお母さん方が各サークルを自由にまわって、直接サークル人たちとお話しをしたりできる場を設けた方がいいと思います。車のないお母さんや、子どもが2人とか3人いるお母さんはサークルに入りたくとも、問い合わせるだけで、自由にサークルを見ることができませんので、日にちを決めて、各サークルが集まっているところで自由に直接会ってお話しをして、サークルの雰囲気を見てお話しした方が加入率は増える気がします。

市長

そうですね、分かりました。「わんぱくフェスティバル」は総合体育館などで開催しているものですね。

⑨夜間急病センターの診療体制について

市長

皆さん、週に1回のこのサークル活動を楽しみにしているんですね。他の日は昼間一人で心細くないですか。何か心細いことや相談ごとがありましたら、市の方にも相談に来てください。しっかりと対応させていただきます。

病院について何か思うことはありませんか。夜中に急に熱を出したりした時とか。困ったこととかないですか。

参加者L

先日、夜中の2時頃に子どもがすごく呼吸が苦しそうなので、市立病院の横の夜間急病センターにいきました。その医師が80歳過ぎくらいの方で、子どもが「ぜえぜえ」言っているのが聞こえなくて、看護師さんが「この子、すごくぜえぜえ言っています」と言っても、何にも聞こえていないようでした。また看護師さんが「市立病院に電話した方がいいですよ」と言うと、「でも、そんなに悪いかな」というやりとりを2人でして、結局、看護師さんが市立病院に電話して、即入院となるということがありました。また、医師も人によって対応が違います。連れて行っても、連れてこないでって言う人もいるし、きちんと診てくれる人もいるし、対応してくれないということの方が多いです。

市長

夜間急病センターは夜勤なので、医師のなり手が非常に少ないです。旭川市医師会が指定管理者となって運営しており、医師も医師会の方で募集をかけています。また、本当に一時的なものしかそこでは診れないんですね。ただあまり患者に不安を与えるようなことはどうかと思いますので、少しでも良くなるように、市も医師会と話してみます。

市長終わりのあいさつ

今日は日頃子育てで大変奮闘されているお母さん方と、このように対話の機会を持たせていただいて、本当にありがとうございました。

身近な生活の中で感じていらっしゃるいろいろなお話しを聞かせていただき、私どもも今のご意見を十二分に参考にさせていただいて、これからの旭川市の子育て環境の充実、まちづくり

に是非活かしていきたいと思っています。

またこれからも何か皆さん気付くことがあれば、気軽に市役所の方にもご意見やご相談に来ていただきたいと思います。

またしばらく子育てでたいへんだとは思いますが、お母さんも体調を崩さないで、どうぞ頑張ってください。

今日はどうもありがとうございました。